

議第5号議案

国連憲章、国際法に反する、アメリカとイスラエルによるイラン攻撃の  
即時中止を求める決議

上記の議案を提出する。

令和8年3月11日

提出者

東大和市議会議員	二	宮	由	子		
〃		大	后	治	雄	
〃		石	田	昭	太	朗
〃		関		綾	子	
〃		尾	崎	利	一	
〃		上	林	真	佐	恵
〃		大	川		元	
〃		中	間	建	二	
〃		荒	幡	伸	一	
〃		木	戸	岡	秀	彦
〃		佐	竹	康	彦	
〃		東	口	正	美	

## 国連憲章、国際法に反する、アメリカとイスラエルによるイラン攻撃の 即時中止を求める決議

トランプ米政権とイスラエルは、2月28日、イランに対する大規模な攻撃を開始しました。最高指導者であるハメネイ師を殺害し、この日だけでイラン国民200名以上の命が奪われました。しかも、トランプ米大統領はイランの体制転覆を公然と呼びかけています。

これは国連憲章と国際法を踏みにじる先制攻撃であり、独立した主権国家の最高指導者を殺害し体制転換をはかるような異常な暴挙は決して許されてはなりません。3月4日、国連人権理事会の独立調査団は、米国とイスラエルのイラン攻撃は国連憲章に反すると非難する声明を発表しました。

3月5日現在で、イランの死者は千人を超え、攻撃の応酬によって戦火は中東周辺国にも広がっています。

「東大和市平和都市宣言」は、「恒久平和の実現と、核兵器の廃絶は、全人類共通の願望である。」とした上で、「世界で唯一の核被爆国の国民として、また、国際社会の平和と協調を理念とする憲法をもつ国の国民として、人類の安全と幸福のために、地域紛争を含むすべての戦争の防止と、あらゆる核兵器の廃絶を心から願うものであり、「平和を愛する全世界の人々と手を携えて、戦争と核兵器のない世界の建設にむけて努力することをあらためて誓い、東大和市が平和都市であることを宣言」しています。

よって、東大和市議会は、アメリカとイスラエルがイラン攻撃を直ちにやめ、全ての関係国が交渉による解決に立ち戻るよう求めます。

以上、決議する。